

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
簿記	2	2	実教出版 新簿記	実教出版 反復式 学習と検定 簿記問題集全商3級 東京法令出版 全商簿記実務検定 模擬試験問題集3級

評価の観点	到達目標および評価の内容
a 知識・技能	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
b 思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
c 主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
評価の方法	
各定期考査、単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画												
前期						後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c				a	b	c	
4	1	オリエンテーション				10	5	第3編 決算(その1)				
		第1編 簿記の基礎						・第18章 決算整理(その1)	○	○		
	2	・第1章 簿記の基礎	○		○	2	・第19章 8桁精算表	○		○		
		・第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表	○		○	2	・第20章 商 帳簿決算	○		○		
		・第3章 収益・費用と損益計算書	○		○	11	1	後期中間考査	○	○	○	
		・第4章 取引と勘定	○					第4編 会計帳簿と帳簿組織				
		・第5章 仕訳と転記	○					・第21章 会計帳簿	○		○	
5	2	・第6章 仕訳帳と総勘定元帳		○	12	4	・第22章 伝票の利用	○		○		
		・第7章 試算表		○			1	6	・第23章 会計ソフトウェアの活用	○	○	○
	・第8章 精算表		○	2	1	後期期末考査			○	○	○	
	・第9章 決算		○			○						
	6	1	前期中間考査	○	○	○			3	10	模擬試験問題集取り組み	○
			第2編 取引の記帳									
2		・第10章 現金・預金などの取引	○			7	2	・第11章 商品売買の取引	○			
		・第12章 掛け取引	○					・第13章 手形の取引	○			
		・第14章 その他の債権・債務の取引	○					・第15章 固定資産の取引	○			
		・第16章 個人企業の資本の取引	○					・第17章 販売費と一般管理費、税金の取引	○			
		・第17章 販売費と一般管理費、税金の取引	○									
9	1	前期期末考査	○	○	○							
		計 70										

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項

- ・電卓は貸し出すので、乱暴な取扱いが認められる場合は、別途購入していただく。
- ・授業中の私語などは、円滑な授業進行の妨げとなるため控える。
- ・職業人としてふさわしい態度で授業を受ける。
- ・チャイムが鳴るまでに着席し、必要のない場合は立ち上がらない。
- ・当たり前のことは当たり前できるように。